

eスポーツラボで活動を報告した長崎総合科学大付属  
高科学技術部の部員ら  
|| 長崎市網場町 同校

## 県連合研修会で成果報告



長崎総合科学大付属

eスポーツの普及を図る団体「県eスポーツ連合」(事務局・ひぐち遊ING営業部内)によると、県内の高校ではほかに西海学園高、ころも来高、創成館高、長崎総合科学大付属高、瓊浦高、佐世保実業高、県立島原中央高の7校にeスポーツ部・同好会がある。

11日に開かれた同団体主催の研修会「eスポーツラボ」では、長崎総合科学大付属高が取り組みを発表した。

同校では、ロボコンを中心に取り組んできた「NiAscience部」が2022年度に「科学技術部」に改称し、本格的にeスポーツ活動を開始。部員は現在、13年生21人。プログラミング技術なども学びながらeスポーツのトレーニングに励んでいる。

顧問の長郷繁雄教諭によると、以前はただ

らとゲームしていた生徒が多かったが、部活動により家庭でゲームをする時間は減少。チームで練習することで時間を区切れるようになり、集中して満足度の高いプレーもできるようになったためではないかという。「積極的になった」「よく会話するようになった」などと内面的変化も見られ、試験成績のアップにもつながっている。

研修会で講演した同大の藤原章准教授(仮名字)は、eスポーツを通じた論理的思考や創造性の育成、コミュニケーション能力の向上など教育面の効果とともに、ゲーム産業を支える半導体産業への興味を高める機会にもなると指摘。県内の関連企業への就職、若者の人口流出抑制につながる可能性があると期待を述べた。(小出久)